

平成30年度 行政評価委員会評価表

事業名	災害対策備蓄品	担当部	地域振興部
		担当課	危機管理課

基本情報

施策番号	1002	施策	災害に対する確な対応と迅速な復旧ができる体制にします
事業の目的	災害時に必要な食料や生活必需品を備蓄し、発災時にその物資を迅速かつ確に避難者へ供給することで避難者の生命を守る。		

実施内容	<p>地域防災計画に基づき、区民、事業所は、自助として最低限3日分、できれば7日分の備蓄を行い、区及び都がそれを補完するための公的備蓄を行う。さらに、物資等の調達、備蓄倉庫・広域輸送基地、車両等輸送手段の確保及び円滑な物資搬送を行う。</p> <p>①区と都の備蓄の分担に基づき、区は1日分を目標に約46万食のビスケットやアルファ米、3日分を目標に調製粉乳を、また毛布や簡易トイレ等生活必需品を学校等の避難所に分散備蓄している。</p> <p>②食料及び生活必需品の確保のため、事業者と食料及び生活必需品の供給に関する協定を締結している。</p> <p>③飲料水及び生活用水の供給のため、給水拠点として、金町浄水場、水元給水所の2箇所と、上千葉・新小岩・浜江東公園の3箇所の応急給水槽が都によって整備され、都と区との役割分担により給水活動を行う体制が構築されている。</p> <p>④その他の飲料水や生活用水の備えとして、小中学校の受水槽、プールの活用、震災対策用深井戸の整備、協定による協力井戸等の給水手段を整備している。</p> <p>⑤物資等の輸送については、トラック協会等の団体と協定を締結し、災害時の輸送手段の確保を図っている。また、燃料の確保として石油商業組合と協定を締結している。</p>
------	---

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	目標
	備蓄食料充足率	備蓄食料/備蓄目標 ※ 462,450食(備蓄目標)=130,630人(避難所生活者数)×3食+70,560人(帰宅困難者数)×1食	%	目標	100	100	100		
実績の 評価・ 分析	区と都の備蓄の分担に基づき、必要な物資の確保はできている。また適切な入替により定期的な備蓄品の更新を実施できている。今後は、備蓄買替にかかるコストの平準化や備蓄倉庫の管理徹底、ニーズを捉えた備蓄品の整備等効率的な事業運営をしていくことが課題である。								



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	目標
	備蓄食料年間買い替え数	—	食	目標	180,480	105,780	132,780		
				実績	180,860	100,420	124,526		
				目標					
				実績					
				目標					
				実績					
				目標					

今後の方向性

評価の視点 ①方向性 ②実施内容 ③実施方法	②	首都直下地震では、生活物資の輸送が数日間困難となるのが想定されるため、現在、区は自助による備蓄(できれば7日分の家庭内備蓄)、3日分の公的備蓄(区は1日分、都が2日分)を進めている。食料、生活必需品については、高齢者、乳幼児等の災害時要配慮者、食物アレルギーの防止、男女のニーズの違い等にも配慮し調達・供給する必要がある。また、多様なニーズに応えるためには、新たな備蓄品の保管スペースを確保する必要がある。こうした状況のなか、区として避難者のニーズにどこまで応えるべきか、また限られた倉庫スペースにどのように効率的に保管・管理していったらよいか、ご意見をいただきたい。
所管課の見解	改善	最近の国や東京都などの防災対策の進展を踏まえ、初期対応に必要な十分な量の物資を把握し、避難者の多様なニーズに応えた物資の供給を実施する。そのために災害対策用備蓄品の品目や規格、数量を見直すとともに、現在配備されている防災用品についても、機能性が強化され、省エネ・省スペース化された物への買替を促進するなど限られたスペースの中で、区民のニーズに対応した効率的な公助としての備蓄を進めていく。

コスト内訳(決算)(千円)

項目		27年度	28年度	29年度	コストの主な内訳
収入	特定財源	0	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	
	都道府県支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源(a)		66,112	47,622	57,101	
事業費	直接事業費(b)	61,402	42,912	53,001	
	消耗品費	44,404	25,930	39,328	ビスケット、アルファ米、保存水の購入等
	通信運搬費	0	1,009	371	備蓄品運搬費等
	手数料	0	0	199	廃棄備蓄物資分別作業
	委託料	944	299	1,153	備蓄品産業廃棄物処理委託等
	備品費	16,054	15,674	11,950	マンホールトイレテナント、自動ラッピングトイレ購入等
	職員人件費(c)	4,710	4,710	4,100	
	人件費	3,950	3,950	3,200	
	再任用職員	760	760	900	
	間接費(d)	0	0	0	
調整額(e)	325	450	380		
減価償却費	0	0	0		
金利	0	0	0		
退職給与引当	325	450	380		
(控)コスト対象外	0	0	0		
トータルコスト(f=b+c+d+e)		66,437	48,072	57,481	

単位あたりコスト	項目	27年度	28年度	29年度	コスト増減の理由 平成29年度はビスケットやアルファ米に加え、調製粉乳の買替えもあり、備蓄品の買替数量が多かった。
	単位の定義	備蓄食料年間買い替え数(食)			
	実績数値(g)	180,860	100,420	124,526	
	単位あたり区単コスト(a/g)	365.54円	474.23円	458.55円	
	単位あたりコスト(f/g)	367.34円	478.71円	461.60円	

## 24 災害対策用備蓄品一覧

## 第1 区

品名	備蓄総数	品名	備蓄総数
ビスケット	318,140食	タオル	31,120枚
アルファ米	117,450食	安全キャンドル	3,085個
炊飯機器	85台	医薬品	77組
救急移動炊飯器	15台	救急担架	137本
カセットコンロ	171台	テント	88張
哺乳びん	3,020本	防水シート	851枚
保存水	44,376ℓ	発電機	156台
0.5t給水タンク	116基	投光器	215台
20ℓポリタンク	322個	コードリール	152台
10ℓポリタンク	92個	災害救助用ボート	77艘
ポリバケツ	162個	救命胴衣	4,110着
紙コップ	55,500個	調製粉乳	1,840缶
ろ水機	84台	折り畳み給水タンク	1,283個
毛布	64,513枚	燃料(ガソリン)	200ℓ
カーペット	25,015枚	おかゆ	4,512食
断熱マット	37,980枚	アルミブランケット	3,240枚
簡易トイレ	35,528個	スタンドパイプ	6基
組立トイレ	248基	スコップ(角・丸)	324本
トイレットペーパー	52,388個	携行缶	99缶
ビニール袋	1,082,213枚	マンホールトイレ	49基
紙おむつ	25,848枚	キット	
生理用品	40,896包		

## 第2 都

品名	数量	備考	
クラッカー	338箱	東四つ木災害備蓄倉庫	70×300箱=21,000
		柴又災害備蓄倉庫	70×38箱=2,660
アルファ米	200箱	東四つ木災害備蓄倉庫	五目10,000食(100箱)
		〃	わかめ 3,000食(30箱)
		〃	白粥 2,000食(40箱)
		〃	白米 3,000食(30箱)
毛布	4,360枚	奥戸第二災害備蓄倉庫	2,840
		奥戸第三災害備蓄倉庫	520
		柴又災害備蓄倉庫	1,000
カーペット	4,605枚	奥戸第二災害備蓄倉庫	1,300
		奥戸第三災害備蓄倉庫	200
		柴又災害備蓄倉庫	3,105
災害救助用ボート	8艘	旧明石小3、飯塚小2、西亀有小3	

## 葛飾区学校備蓄品標準一覧表

区 分	品 名	標準数量	内 訳
食 糧	ビスケット(5年)	7 箱	1,120食(80食×2缶/箱)
	アルファ米(5年)	10 箱	500食(50食/箱)
	飲料水(5年)	40 箱	480ℓ(2ℓ×6本/箱)
	カセットコンロ	2 台	
	コンロ用ボンベ	12 本	3本×4セット
	炊飯機器	1 基	
	缶きり	1 個	
	炊出し袋	3 包	3,000枚(1,000枚/包)
飲 料	0.5t給水タンク	1 基	
	紙コップ	1 箱	500個/箱
	ろ水機	1 台	
応 救	医薬品(2年)	1 組	
	発電機	1 台	
	投光機	2 台	
	コードリール	1 個	
	災害用救助ボート	1 艇	
	救命胴衣	6 着	大人5・子供1
	ブルーシート	10 枚	
	土のう袋	10 袋	
生活必需品	毛布	48 箱	480枚(10枚×48箱)
	断熱マット	16 箱	480枚(30枚×16箱)
	カーペット	10 箱	200枚(20枚×10箱)
	簡易トイレ	9 箱	54個(6個×9箱)
	簡易トイレ予備袋	250 枚	
	ビニール袋(20ℓ)	7 箱	4,200枚(600枚×7箱)
	ビニール袋(90ℓ)	2 箱	600枚(300枚×2箱)
	トイレットペーパー	6 箱	576個(96巻×6箱)
	組立トイレ	1 基	
	生理用品	4 箱	96パック(24パック×4箱)
	タオル	3 箱	600枚(200枚×3箱)
	安全キャンドル	20 個	
	子供用紙おむつ	1 箱	216枚(54枚×4パック/箱)
活 動	腕章	50 枚	
	特設公衆電話	5 台	

## 平成29年度 消耗品(備蓄食料)内訳

	納入数量	保管場所	備考
ビスケット	11,400 食	小・中学校内備蓄倉庫	避難所用
ビスコ	46,980 食	小・中学校内備蓄倉庫・災害備蓄倉庫	帰宅困難者用(児童・生徒・教職員用・駅前滞留者用)
アルファ米(五目ごはん)	41,850 食	小・中学校内備蓄倉庫・災害備蓄倉庫	避難所用
	13,400 食	災害備蓄倉庫	帰宅困難者用
アルファ米(五目ごはん)	5,350 食	福祉避難所	福祉避難所用
アルファ米(白かゆ個食タイプ)	3,482 食		
アルファ米(梅かゆ個食タイプ)	1,699 食		
アルファ米(五目ごはん)	200 食	福祉避難所	福祉避難所用 ※新規
アルファ米(白かゆ個食タイプ)	110 食		
アルファ米(梅かゆ個食タイプ)	55 食		
栄養補助食品	243 食		
保存水	330 ℓ		
保存水	1,572 ℓ	小・中学校内備蓄倉庫・災害備蓄倉庫	避難所用
調製粉乳	1,703,680 g	災害備蓄倉庫	避難所用
その他	遺体収納袋及び遺体収納袋用コットンシート、簡易トイレ用固 化剤付取替袋ほか		

### 学校備蓄品の入替

#### (1) 毛布の入替

一番古い毛布    1,989年購入    491箱（1箱10枚入り）

		現状の毛布	コンパクトタイプ
容積	枚数	48箱（480枚）	50箱（500枚）
	1箱のサイズ（cm）	75×55×33	42×32×22
	容積（立方メートル）	6.5	1.5
	備蓄倉庫（※半教室約6.4立方メートル）に占める割合	10%	2%
	5立方メートルの空があると・・・ ビスコ60食入り（1箱 0.03立方メートル）：166箱 保存水206本入り（1箱 0.02立方メートル）：250箱		
コスト	学校の毛布を全てクリーニングまたは入替の場合	毛布クリーニング （@1,575）	コンパクト毛布購入 （@3,024）
メリット（○）・デメリット（×）		○安い ×嵩張る ×30年経過	○コンパクト ○保温性が高い ×コスト高（クリーニングの倍）
学校避難所分全て実施	クリーニング	@1,575×480枚×77校=58,212,000	
	コンパクト毛布購入	@3,024×480枚×77校=111,767,040	

#### (2) LED投光器の導入

ハロゲンとの比較（一例）

※岩崎電気ホームページより参考

	ハロゲン	LED
消費電力	300W	60W
平均寿命	1,500時間	40,000時間
その他	発熱量が多い	発熱が少ない、虫が寄り付かない、明るさ調整可能
明るさ		ハロゲンと比較し23%明るい
費用（参考）	62,400円	191,000円

学校配備のガス式発電機（連続運転時間1.1～2.2H）は従来のガソリン式

（3.9～7H）に比べて連続運転時間が短いため、消費電力の少なく照射範囲の広いLED投光器が有効

避難所全てにLED灯光器に入れ替える場合

@191,000×77校=14,707,000円

【参考】

LED LIGHT

**60W LED投光器タイプ**

高輝度60W LED採用  
300Wバラストレス水銀ランプより明るく  
消費電力も約1/5に抑えられます

全光束 5100ルーメン ×2灯

主な特徴

- 省エネ 長寿命60WLEDを採用
  - LED寿命は約40,000時間
  - 電圧投入ですぐに明るく点灯
  - 中心光束を調整
  - 紫外線放射が少ないので、保ちとんごを害せかけません
- 雨中でも安心の防雨仕様
- アース不要の二重絶縁構造
- 材質 耐久性に優れたポリカーボネイト製薄型コンパクトボディ
- 前面カバー透明保護フィルム付
- 上下180度、左右360度回転可能

寸法

セット内容

- 灯体×2
- 三脚スタンド×1
- 2灯専用アーム×1
- 10mVDCリチウム電池×1

プロ仕様機×2  
（アース付）  
H210×W225×D1150mm

型名 LEVX-10S  
標準では、1.480×2,730mm  
ソフト展開、1VDC  
LED×2灯×200W×2



ハロゲン投光器

(3) 大型給水タンク及び炊き出し用ドラム缶の廃棄

- ・プラスチック製給水タンク (0.5 t)

避難所の受水槽及び給水拠点の整備により不要

寸法 (cm)	86×104×75 (1988年製)
---------	--------------------

- ・炊き出し用ドラム缶 (高さ 930×φ 600mm) の廃棄

従来の炊き出し袋での炊飯からアルファ化米になったことから不要



給水タンクとドラム缶